

建築設備設計基準ソフトウェア

STABRO 負荷計算 平成 30 年版

セットアップガイド

2020 年 3 月

株式会社イズミシステム設計

目次

はじめに.....	1
必要システム	1
ダウンロード版の内容	1
パッケージ版の内容.....	1
セットアップを始める前のご注意.....	2
セットアップ	3
セットアップの流れ	3
本ソフトウェアのインストールを行う.....	4
インストール済みソフトウェアの削除.....	12
削除の流れ.....	12
本ソフトウェアの削除を行う	12
フォルダとファイル構成.....	13

はじめに

このソフトウェアは、ハードディスクにインストールして使用します。
インストールは必ず専用プログラムにて行ってください。

必要システム

本ソフトウェアを運用するための機器構成、ソフトウェアは以下のとおりです。

OS	Microsoft Windows 8.1 (32bit(x86)/64bit(x64)版に対応) Microsoft Windows 10 (32bit(x86)/64bit(x64)版に対応)
コンピュータ本体とメモリ	お使いの OS が推奨する環境以上
ディスプレイ	1600×900 以上の解像度
ハードディスク	インストール時に 50MB以上の空きエリアが必要
ディスク装置	CD-ROM ドライブ
インターネット接続	HTTP/1.1 の各プロトコルが通過できるインターネット接続環境
必須コンポーネント	Microsoft .NET Framework 4.6.1 ※ セットアップ時に自動的にインストールされます。
必須ソフトウェア	Microsoft Excel 2010／2013／2016 ※ 上記ソフトウェアは、本製品で印刷、ファイル出力等を行うために必要です。 Adobe Reader DC 以降 ※ 上記ソフトウェアは、操作マニュアル等の各種ドキュメントファイルの閲覧や印刷するために必要です。

ダウンロード版の内容

圧縮ファイル	セットアッププログラム等のファイルが納められた圧縮ファイルです。
--------	----------------------------------

パッケージ版の内容

CD-ROM	セットアッププログラム等のファイルが納められたディスクです。
セットアップガイド	現在ご覧になっている説明書です。 ソフトウェアのセットアップ方法について記述しています。
ソフトウェア製品証	本製品のライセンスに関する製品証です。 こちらにプロダクトキーが記載されています。
ユーザー登録シート	ユーザー登録シート
ユーザー登録・お問い合わせについて	サポートについての説明と、質問・要望に使用する用紙です。
拾い入力用紙	アプリケーションに入力する数値を、図面から拾う場合に使用します。 ※ この用紙は、コピーしていただくか、CD-ROM のドキュメントフォルダにある “STABRO 負荷計算 H30 拾い入力用紙.xlsx” ファイルを印刷してお使いください。

セットアップを始める前のご注意

◆ライセンスについて

本ソフトウェアは、不正使用防止のために、オンラインライセンス認証方式を採用しています。ライセンスが認証されない場合、起動できません。

◆ユーザー アカウントについて

ソフトウェアのインストール／削除を行なう場合は、「管理者」ユーザーでログオンしている状態で作業を行ってください。
(もし、「管理者」以外のユーザーでログオンしている場合は、「管理者」ユーザーのパスワードを入力する必要があります。)

なお、ソフトウェアの運用は、「管理者」以外のユーザーでも使用できます。

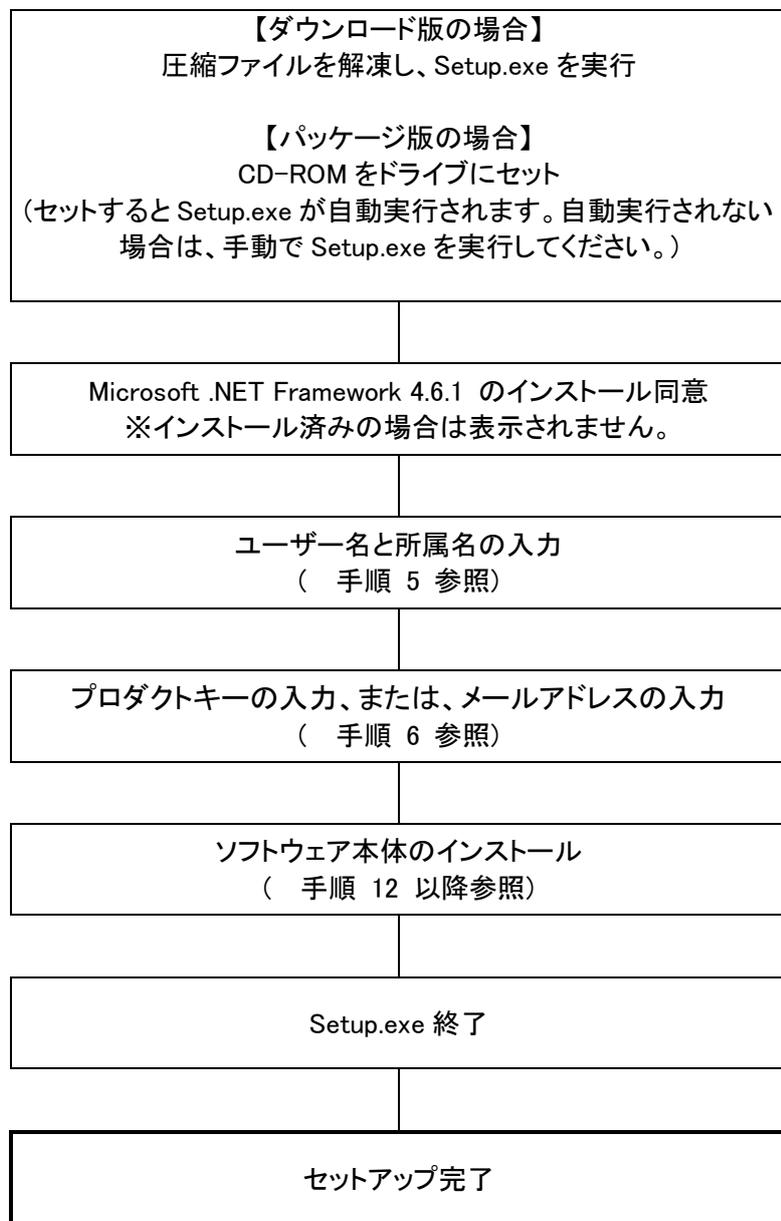
◆マニュアル等のドキュメントについて

マニュアル等のドキュメントは、ソフトウェアのインストールを行うと同時にコピーされます。
閲覧または印刷を行う場合は、インストール完了後に「スタート」メニューに作成されるショートカットから該当ドキュメントを表示させ、ご利用ください。

セットアップ

セットアップの流れ

本ソフトをセットアップする流れを次に示します。



本ソフトウェアのインストールを行う

以下の手順で本ソフトウェアのインストールを行います。

手順 1

【ダウンロード版の場合】

ダウンロード版は ZIP 圧縮されていますので、まずはファイルを解凍してください。

起動しているアプリケーションをすべて終了してから、解凍されたフォルダ内の Setup.exe を実行してください。

【パッケージ版の場合】

起動しているアプリケーションをすべて終了してから、本ソフトウェアの CD-ROM をドライブにセットします。

数秒すると Setup.exe が自動起動されます。

※自動起動されない場合は、CD-ROM 内の Setup.exe を実行してください。

手順 2



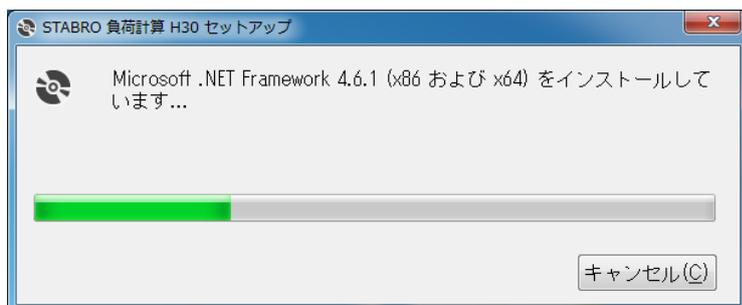
Microsoft .NET Framework 4.6.1 のインストールの同意です。ライセンス条項を確認のうえ、[同意する(A)]ボタンをクリックします。

※インストール済みの場合は、表示されません。



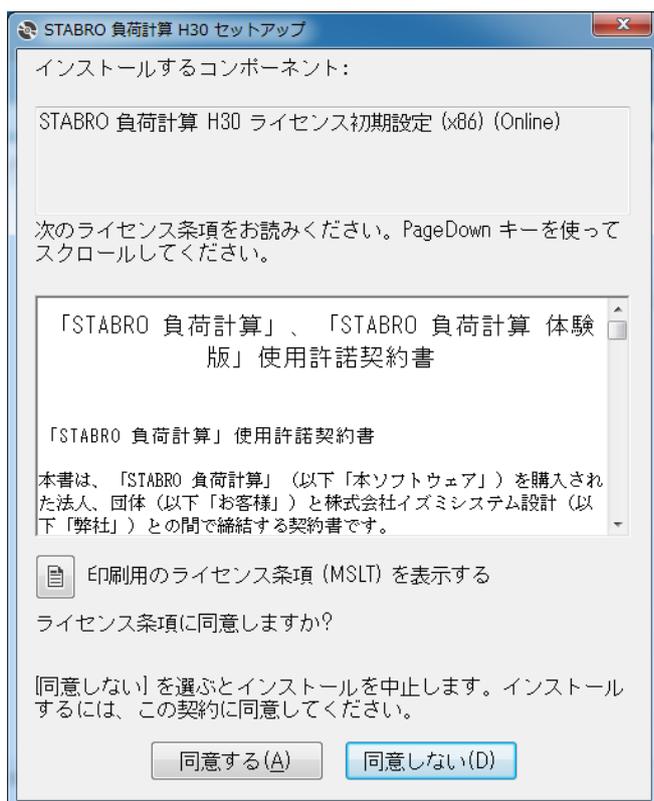
手順 2 を行った場合は、Microsoft .NET Framework 4.6.1 のインストールとなります。

インストールする前に「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されることがありますが、画面確認のうえ「はい」をクリックして進めてください。



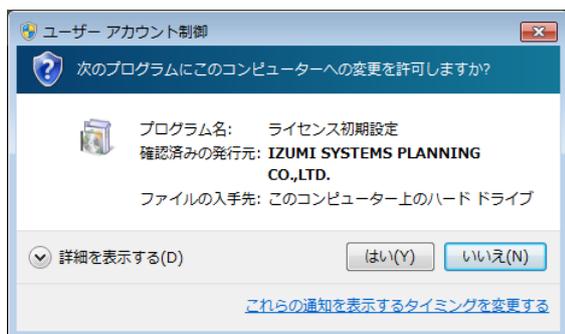
Microsoft .NET Framework 4.6.1 のインストールが終了するまで、数分～数 10 分間要します。

手順 3



本ソフトウェアのインストール確認です。
内容をご確認の上、[同意する (A)]ボタンをクリックします。

手順 4



ライセンス初期設定をインストールする前に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがありますが、「はい」をクリックして進めてください。

手順 5

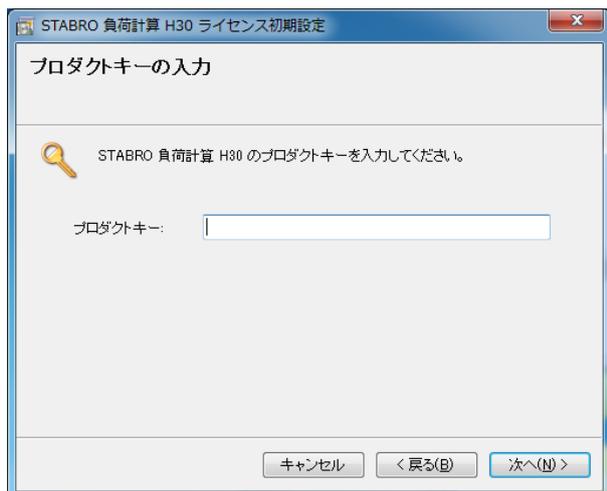
ユーザー名と所属名の入力画面です。
ユーザー名はライセンスに必要な情報となりますので、必ず入力してください。
入力した内容に間違いがなければ[次へ(N) >]ボタンをクリックします。

手順 6

インストールするプロダクトを選択する画面です。
製品を購入された場合や、特別なプロダクトキーを入手した場合は、「プロダクトキーをお持ちの場合 (製品版等)」を選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックします。
→[手順 7]へ

また、体験版申請を行った場合は、「体験版申請した場合」を選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックします。
→[手順 9]へ

手順 7



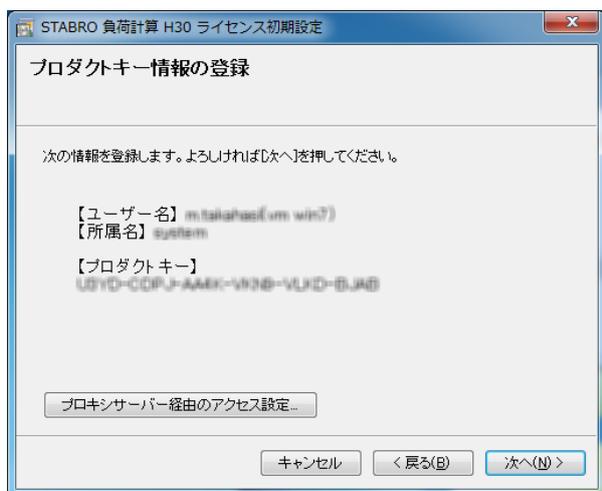
プロダクトキーの入力画面です。

- ・CD ケース内の「ソフトウェア製品証」に記載されたプロダクトキー
- ・購入時の返信メールに記載されたプロダクトキー
- ・その他、弊社からのメール等で入手したプロダクトキー

上記のプロダクトキーのいずれかを正しく入力してください。

入力した内容に間違いがなければ[次へ(N) >]ボタンをクリックします。

手順 8



プロダクトキー情報の登録画面です。

表示されている内容の間違いがなければ[次へ(N) >]ボタンをクリックします。

入力情報に問題がない場合は、ソフトを使用するための情報が弊社管理サーバーに登録されます。

※ 上記情報は「プログラムのアンインストール」を行うと、弊社管理サーバーから削除されます。

プロキシサーバー経由で外部のネットワークに接続する環境では、[プロキシサーバー経由のアクセス設定...]ボタンをクリックし、表示される設定画面で設定を行います。プロキシサーバーにつきましては、社内のネットワーク担当の方にお尋ねください。

プロキシサーバー経由のアクセスについては、弊社ではサポート対象外とさせていただきます。

手順 9

体験版申請時のメールアドレスを入力する画面です。
入力した内容に間違いがなければ[次へ(N) >]ボタンをクリックします。

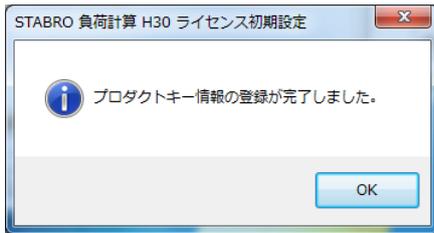
手順 10

体験版のプロダクトキー発行と登録画面です。
表示されている内容の間違いがなければ[次へ(N) >]ボタンをクリックします。
入力情報に問題がない場合は、ソフトを使用するための情報が弊社管理サーバーに登録されます。

※ 上記情報は「プログラムのアンインストール」を行うと、弊社管理サーバーから削除されます。

プロキシサーバー経由で外部のネットワークに接続する環境では、[プロキシサーバー経由のアクセス設定…]ボタンをクリックし、表示される設定画面で設定を行います。プロキシサーバーにつきましては、社内のネットワーク担当の方にお尋ねください。
プロキシサーバー経由のアクセスについては、弊社ではサポート対象外とさせていただきます。

手順 11



ライセンス初期設定が完了しました。[OK]ボタンをクリックします。

手順 12



本ソフトウェア本体のインストール開始画面です。
セットアップを続行する場合は[次へ(N) >]ボタンをクリックします。[キャンセル]ボタンをクリックすると、セットアップを中止します。

手順 13



インストール先を指定する画面です。
通常は初期値のまま進めますが、[参照(R)...]ボタンをクリックすると別の場所を指定することができます。
入力した情報に間違いがなければ[次へ(N) >]ボタンをクリックします。

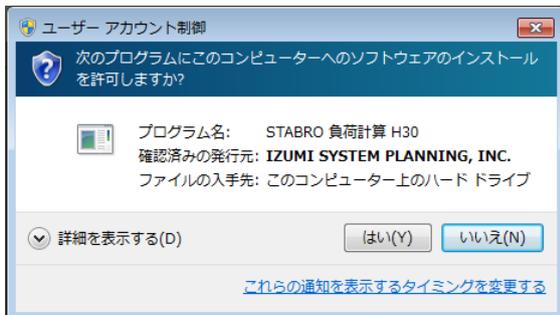
※OS が 32 ビットの場合は“Program Files (x86)”ではなく“Program Files”が初期値となります。

手順 14



インストールの確認画面です。[次へ(N) >] ボタンをクリックするとインストールを開始します。

手順 15



本ソフトウェア本体をインストールする前に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがありますが、「はい」をクリックして進めてください。



インストール中の画面です。



以上でインストールが完了しました。[閉じる(C)]ボタンをクリックします。

インストールが正しく行われると、次の場所にショートカットが作成されます。

ショートカット名

“STABRO 負荷計算 H30”

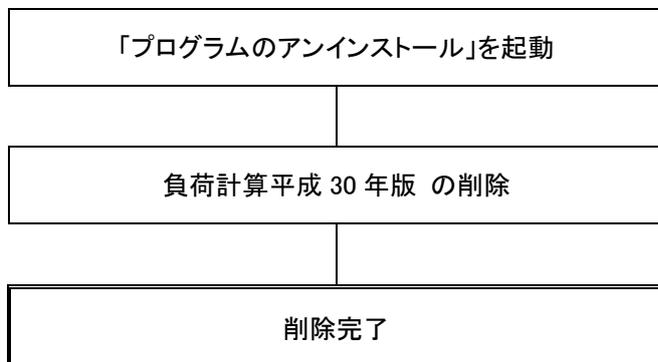
場所

- ・デスクトップ
- ・スタートメニューの “STABRO 負荷計算 H30” フォルダ内

インストール済みソフトウェアの削除

削除の流れ

インストールした本ソフトを削除する流れを次に示します。



本ソフトウェアの削除を行う

以下の手順で削除を進めてください。

手順 1

【Windows 10 の場合】

Windows のスタートボタンをクリックし、歯車アイコンの「設定」- 「アプリ」を開きます。

【Windows 8.1 の場合】

Windows のスタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - 「プログラムのアンインストール」を選択します。

手順 2

【Windows 10 の場合】

「アプリと機能」で「STABRO 負荷計算 H30」を検索し、[アンインストール]ボタンをクリックすると削除プログラムが実行されます。

【Windows 8.1 の場合】

「STABRO 負荷計算 H30」を選択してから、[アンインストール]ボタンをクリックすると削除プログラムが実行されます。

以降、画面にしたがって削除してください。

※アンインストール中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがありますが、「はい」をクリックして進めてください。

【注意！】

- ・「管理者」又は「標準ユーザー」でログオンしている状態で作業を行って下さい。
- ・「管理者」以外のユーザーの場合は、管理者のユーザー名とパスワードの入力が必要になります。
- ・弊社管理サーバーから情報を正しく削除するには、インターネットに接続されている必要があります。

フォルダとファイル構成

インストール時または起動時に作成される、フォルダやファイルを次に示します。

1) インストール時にコピーされるフォルダとファイル

C:\Program Files (x86)\StabroAL 5.0	
StabroAL.exe	プログラム本体
AlmConstantData.json	初期供給データファイル
AlmVariableData.json	ユーザーデータファイル
AlmPrintBook.xlsx	印刷帳票作成用ファイル
AlmPrintBookGlassRoof1.emf	ひさし寸法図ファイル
AlmPrintBookGlassRoof2.emf	//
AlmPrintBookGlassRoof3.emf	//
AlmPrintBookGlassRoof4.emf	//
AlmPrintBookGlassRoof5.emf	//
AlmPrintBookGlassRoof6.emf	//
AlmPrintBookGlassRoof7.emf	//
AlmPrintBookGlassRoofSun.emf	//
C:\Program Files (x86)\StabroAL 5.0\Material Pictures	
*.bmp	構造体材料図ファイル
C:\Program Files (x86)\StabroAL 5.0\SampleDats	
*.issal	サンプルデータ
C:\Program Files (x86)\StabroAL 5.0\Documents	
.	各種ドキュメントファイル

※上記ドライブ名は、Cドライブにインストールした場合です。

※上記フォルダ名は、インストール時に変更していない場合です。

※OSが32ビットの場合は“Program Files(x86)”ではなく“Program Files”が初期値となります。

2) 起動時に作成されるフォルダとファイル

C:\Users\ユーザー名\AppData\Local\Izumi System Planning\StabroAL\5.0	
AlmSettings.json	設定ファイル
AlmVariableData.json	ユーザーデータファイル
log	ログファイル格納フォルダ

※上記のプログラムやデータ以外に、プログラムを実行するために必要なファイルを Windows システムフォルダにコピーします。